



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日  
上場取引所 東

上場会社名 プレス工業株式会社  
コード番号 7246 URL <https://www.presskogyo.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 美野 哲司  
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 笹岡 孝紀 TEL 044-276-3901  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	151,446	10.3	10,823	20.2	11,413	18.4	6,748	62.3
2023年3月期第3四半期	137,288	23.9	9,004	12.6	9,642	22.1	4,156	2.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 12,699百万円 (22.2%) 2023年3月期第3四半期 10,391百万円 (64.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	66.27	—
2023年3月期第3四半期	40.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	190,822	118,912	55.9	1,052.31
2023年3月期	178,402	111,087	56.2	972.37

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 106,738百万円 2023年3月期 100,267百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.50	—	10.50	21.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,800	2.7	13,200	0.7	13,100	△4.5	7,800	14.8	76.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	106,823,470株	2023年3月期	108,594,270株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,390,940株	2023年3月期	5,477,784株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	101,827,927株	2023年3月期3Q	103,796,794株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内及び海外のトラック・建設機械の事業環境は、半導体等の部品不足は改善が進んだものの、円安の進行、世界経済の景気後退懸念等、先行き不透明な状況が継続しました。

このような状況のもと、当社グループにおいては、生産変動への対応力強化と合理化活動を継続し、収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,514億46百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は108億23百万円（前年同期比20.2%増）、経常利益は114億13百万円（前年同期比18.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67億48百万円（前年同期比62.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### （自動車関連事業）

当セグメントにおける国内及び海外の事業環境及び業績は次のとおりであります。

##### 【国内】

普通トラックの国内需要は前年同期比11.5千台増の50.2千台、小型トラックの国内需要は前年同期比8.5千台増の56.8千台となりました。輸出は普通トラック・小型トラックが前年同期に比べ減少しましたが、売上高は増加しました。

##### 【タイ】

1トンピックアップトラックの国内需要は減少したものの、TSPKグループではSUV向け等の生産が前年同期に比べ増加し、売上高は増加しました。

##### 【米国】

国内需要は増加したものの、PK U.S.A., INC. では一部得意先向け車種の生産が終了したこと等により生産は前年同期に比べ減少し、売上高も減少しました。

##### 【インドネシア】

商用車の国内需要及び輸出向けが減少したことにより、PT.PK Manufacturing Indonesiaの生産は前年同期に比べ減少し、売上高も減少しました。

##### 【スウェーデン】

欧州での商用車需要は増加しましたが、PRESS KOGYO SWEDEN ABの生産は前年同期に比べ減少し、売上高も減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,252億43百万円（前年同期比11.8%増）となり、セグメント利益は130億52百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

#### （建設機械関連事業）

当セグメントにおける国内及び海外の事業環境及び業績は次のとおりであります。

##### 【国内】

建設機械の国内需要が堅調に推移したことや尾道工場での新規受注車型立上げ等により、国内のキャビン生産は前年同期に比べ増加し、売上高も増加しました。

##### 【中国】

普莱斯工業小型駕駛室（蘇州）有限公司（PRESS KOGYO MINI CABIN（SUZHOU）CO.,LTD.）の生産は国内需要の低迷により前年同期に比べ減少し、売上高も減少しました。

なお、蘇州普美駕駛室有限公司（PM CABIN MANUFACTURING CO.,LTD.）については2021年9月28日付で解散し清算手続中であります。

以上の結果、当セグメントの売上高は259億87百万円（前年同期比2.7%増）となり、セグメント利益は4億60百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,908億22百万円となり、前連結会計年度末比124億20百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金並びに機械装置及び運搬具の増加によるものであります。

負債は、719億10百万円となり、前連結会計年度末比45億95百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は、1,189億12百万円となり、前連結会計年度末比78億25百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は55.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日付で公表いたしました予想を変更いたしません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,344	24,799
受取手形及び売掛金	44,088	48,312
商品及び製品	1,662	2,030
仕掛品	11,993	9,889
原材料及び貯蔵品	2,011	2,269
未収還付法人税等	20	7
その他	4,958	5,427
貸倒引当金	△14	△5
流動資産合計	87,065	92,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,172	12,245
機械装置及び運搬具（純額）	17,531	22,734
土地	32,441	32,600
その他（純額）	16,649	15,707
有形固定資産合計	77,794	83,287
無形固定資産		
その他	538	503
無形固定資産合計	538	503
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,388	1,311
退職給付に係る資産	3,561	3,638
投資その他の資産	8,129	9,378
貸倒引当金	△76	△29
投資その他の資産合計	13,003	14,299
固定資産合計	91,336	98,090
資産合計	178,402	190,822
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,486	35,247
短期借入金	6,441	5,920
未払法人税等	956	934
賞与引当金	3,486	2,109
引当金	130	96
その他	9,144	11,304
流動負債合計	51,646	55,613
固定負債		
長期借入金	2,511	2,248
繰延税金負債	2,198	2,938
再評価に係る繰延税金負債	7,601	7,601
引当金	140	139
退職給付に係る負債	2,276	2,448
資産除去債務	405	405
その他	533	516
固定負債合計	15,668	16,297
負債合計	67,315	71,910

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,074	2,074
利益剰余金	67,980	71,627
自己株式	△1,936	△2,183
株主資本合計	76,189	79,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,219	3,148
土地再評価差額金	17,255	17,255
為替換算調整勘定	3,858	6,083
退職給付に係る調整累計額	745	660
その他の包括利益累計額合計	24,078	27,149
非支配株主持分	10,819	12,173
純資産合計	111,087	118,912
負債純資産合計	178,402	190,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	137,288	151,446
売上原価	117,231	129,014
売上総利益	20,057	22,432
販売費及び一般管理費	11,052	11,608
営業利益	9,004	10,823
営業外収益		
受取利息	18	89
受取配当金	275	371
固定資産賃貸料	42	38
為替差益	460	344
その他	61	115
営業外収益合計	858	959
営業外費用		
支払利息	187	325
その他	32	43
営業外費用合計	219	368
経常利益	9,642	11,413
特別利益		
固定資産売却益	21	15
土地使用権放棄に伴う経済的補償益	232	537
投資有価証券売却益	—	0
関係会社清算益	885	—
特別利益合計	1,138	553
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	86	32
減損損失	1,981	—
投資有価証券評価損	154	—
特別損失合計	2,222	32
税金等調整前四半期純利益	8,558	11,934
法人税、住民税及び事業税	1,986	2,575
法人税等調整額	553	589
法人税等合計	2,539	3,164
四半期純利益	6,019	8,769
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,862	2,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,156	6,748

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益	6,019	8,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	929
為替換算調整勘定	4,508	3,084
退職給付に係る調整額	△101	△84
その他の包括利益合計	4,372	3,929
四半期包括利益	10,391	12,699
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,393	9,819
非支配株主に係る四半期包括利益	2,998	2,880

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①自己株式の取得

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,770,800株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取による取得も含めて、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,000百万円増加しました。

②自己株式の消却

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月29日付で自己株式1,770,800株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が17百万円、利益剰余金が699百万円、自己株式が717百万円減少しました。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が2,074百万円、利益剰余金が71,627百万円、自己株式が2,183百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	111,586	23,749	135,336	1,952	137,288	—	137,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	447	1,560	2,008	—	2,008	△2,008	—
計	112,033	25,310	137,344	1,952	139,296	△2,008	137,288
セグメント利益	11,086	461	11,547	56	11,603	△2,599	9,004

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,599百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,601百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「建設機械関連事業」セグメントにおいて、1,981百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	124,883	24,354	149,238	2,208	151,446	—	151,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	360	1,633	1,993	—	1,993	△1,993	—
計	125,243	25,987	151,231	2,208	153,439	△1,993	151,446
セグメント利益	13,052	460	13,512	101	13,614	△2,791	10,823

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,791百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,792百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。